

**日本赤十字豊田看護大学 大学院看護学研究科 履修証明プログラム**  
**「災害看護実践プログラム」**

日本赤十字豊田看護大学 大学院看護学研究科では、履修証明プログラム「災害看護実践プログラム」を開設しています。これは平成 19 年に学校教育法の改正で創設された履修証明制度に対応しており、社会人を対象にした教育プログラムです。

プログラム修了者に日本赤十字豊田看護大学 学長名の「履修証明書」が交付されます。

<教育目的・概要>

災害発生時には、健康に関わる専門職として、人々に寄り添い、生命と健康を守るために他職種と連携した看護職の活動が欠かせない。そのために看護職が防災・減災に関心を持ち所属組織や部署、および地域を防災・減災の視点から見直し、様々な職業の人々と関係を作りながら健康に関わる専門職として、防災・減災に向けた活動が期待される。このことから、本プログラムは、その役割を担う看護職として所属組織や部署、地域において人々の生命・健康に焦点をあてた防災・減災活動を実践するために必要な災害看護学の知識、技術、能力の育成を目指している。災害により影響を受ける多様な場において、災害への備え、発災時の対応、復興まで個として、チームとして実践的に活動できる看護職の育成を目指す実践プログラムである。

<対象とする職業の種類>

看護師、保健師、助産師

<身に付けることのできる知識・技術・技能>

- ・災害と人々や生活への影響に関する知識
- ・防災の歴史と防災体制に関する知識
- ・災害への備え、発災時、復興期に個として、チームとして活動する知識と方法

<得られる能力>

- ・組織や地域において防災担当者として活動する能力
- ・組織や地域の人々の防災・減災活動を高める能力
- ・災害への備え、発災時の対応、復興まで個として、チームとして実践的な看護活動ができる能力

<カリキュラム>

科目内容については以下のとおり、講義内容については別添シラバスのとおりとなります。

科目	時間	開講時期
災害看護学特論	12 時間	前期
災害看護実践論	12 時間	前期
防災・減災看護演習	12 時間	後期
災害看護学実習	33.5 時間	通年
合計	69.5 時間	前期 2 科目・後期 1 科目・通年 1 科目

<修了要件>

1 年間で上記プログラムを受講し、科目ごとの試験に合格すること。

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和5年1月13日

①学校名:	日本赤十字豊田看護 大学(私立)		②所在地:	愛知県豊田市白山町七曲12番33号	
③課程名:	災害看護実践プログラム		④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日: 2022/4/1
⑥責任者:	百瀬由美子 研究科長		⑦定員:	10名	⑧期間: 1年
⑨申請する課程の目的・概要:	災害発生時には、健康に関わる専門職として、人々に寄り添い、生命と健康を守るために他職種と連携した看護職の活動が欠かせない。そのために看護職が防災・減災に関心を持ち所属組織や部署、および地域を防災・減災の視点から見直し、様々な職業の人々と関係を作りながら健康に関わる専門職として、防災・減災に向けた活動が期待される。このことから、本プログラムは、その役割を担う看護職として所属組織や部署、地域において人々の生命・健康に焦点をあてた防災・減災活動を実践するために必要な災害看護学の知識、技術、能力の育成を目指している。災害により影響を受ける多様な場において、災害への備え、発災時の対応、復興まで個として、チームとして実践的に活動できる看護職の育成を目指す実践プログラムである。				
⑩10テーマへの該当の有無	医療・介護、 防災・危機管理	⑪履修資格:	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者</p> <p>(2)学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与見込みの者</p> <p>(3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者</p> <p>(4)外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者</p> <p>(5)文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)</p> <p>(6)学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者</p> <p>(7)本大学院において、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</p> <p>個別の出願資格を審査する要件は、以下のいずれかに該当する場合とする。</p> <p>①日本国の看護師免許を有し看護師として実務経験が3年以上ある者で、看護系短期大学(3年課程又は2年課程)、看護専門学校(3年課程)又は高等学校看護師養成課程専攻科を卒業した者</p> <p>②日本国の保健師若しくは助産師の資格を有し実務経験が3年以上ある者、又は日本看護協会に認定看護師として登録されている者</p>		
⑫対象とする職業の種類:	看護師、保健師、助産師				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)		(得られる能力)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害と人々や生活への影響に関する知識</li> <li>・防災の歴史と防災体制に関する知識</li> <li>・災害への備え、発災時、復興期に看護職として活動する知識と方法</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織や地域における防災担当者として防災・減災準備計画の立案や発災時に活動をする能力</li> <li>・組織や地域の人々の防災・減災活動を高める能力</li> <li>・災害への備え、発災時の対応、復興の一連の過程において、実践的な看護活動ができる能力</li> </ul>		
⑭教育課程:	「災害看護学特論」により、災害医療・災害看護に対する基本的な概念と知識を理解する。「災害看護実践論」において、実際の被災地でどのようなことが起こっていたか、看護職がどのように活動したかを知り、自施設が被災した時のために今、どのような準備が必要かを学ぶ。その上で、「防災・減災看護演習」にて、実際に被災したときのために必要な準備として、静穏期における防災・減災教育および訓練、BCP立案、防災マニュアルの作成を通じて、自施設の課題を明確にする。また、「災害看護学実習」で積極的に防災・減災に取り組む施設、訓練、教育を見学することにより、課題をより明確にし実践に繋がれる方法を学ぶ。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	4科目(69.5時間)を履修し、科目評価に合格する。				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	69.5 時間	⑱要件該当授業時数:	69.5時間	該当要件	双方向, 実務家, 実施	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	各科目は、下記のいずれかの、あるいは組み合わせにより科目担当者が評価し、科目担当責任者が総合的に評価する。 ・課題レポート、課題に関するプレゼンテーションの内容、討議への参加度						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定められている評価を行う。 セメスターごとに5段階の授業評価を行い、評価点および自由記述をとりまとめ、大学院教務・学生委員会の検討を経て研究科委員会に報告する。続いて、各科目担当者に評価内容をフィードバックし、各科目担当者が改善点・方法を研究科長に報告し、プログラムの質の向上を目指す。これらの自己点検・評価の結果は本学HPで公表する。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	プログラム修了後の当該プログラム関連活動について、修了生にアンケート調査を年1回実施し、学習内容の活用状況を経年的に把握し、評価する。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 履修証明プログラム検討会議において、実践における災害看護上のニーズや教育内容の希望を把握し、それらをふまえて教育課程の編成を検討する。 (自己点検・評価) 履修証明プログラム検討会議において、実践における修了生の活動状況に関する状況を把握し、さらに外部評価者による教育内容に関する意見をふまえ、教育課程の評価を受ける。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間・休日開講、オンライン授業。なお、「災害看護学実習」については、日・祝日に開催される訓練等での学修も想定しており、社会人が受講しやすい計画とする。地域の防災訓練等は日・祝日に開催される場合も多く、訓練参加の機会の確保が可能である。						
㉕ホームページ:	(URL) <a href="https://www.rctoyota.ac.jp/graduateschool/creditedauditor.html">https://www.rctoyota.ac.jp/graduateschool/creditedauditor.html</a>						

事務担当者名:	木村 美希	所属部署:	学務課教務係
連絡先:	(電話番号) 0565-36-5111 (E-mail) gakumu@rctoyota.ac.jp		

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

\* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	日本赤十字豊田看護大学
課程名:	災害看護実践プログラム

要件該当授業時数:	69.5時間
要件該当授業時数/総授業時数:	100%

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	災害看護学特論		12		○	○		小林洋子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								花木芳洋	日本赤十字社愛知医療セン ター名古屋第一病院
必修	災害看護実践論		12			○	○	長尾佳世子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								藤井愛海	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								小林洋子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								下間正隆	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								森光怜雄	諏訪赤十字病院
必修	防災・減災看護演習		12		○	○		藤井愛海	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								長尾佳世子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								小林洋子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								横田 崇	愛知工業大学 土木工学科地 域防災研究センター長 (実務家教員)
必修	災害看護学実習		33.5		○	○	○	小林洋子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								長尾佳世子	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
								藤井愛海	日本赤十字豊田看護大学 (実務家教員)
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
合計:	4科目						69.5		時間

\* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

\* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。